

川口の夜間中学で日本語学び

外国人3人 高校合格



元教師などがボランティアで教えている「川口自主夜間中学」で学ぶ外国人3人が、川口市立県陽高校定時制に合格した。日本語のハンディを乗り越えた3人は、親身に指導した先生や仲間と喜びを分かち合った。入学式を待ちわびながら、「一生懸命勉強したい」と口をそろえた。

【鶴沢哲雄】

元国語教師の遠藤さん指導

県陽高校定時制に合格したアン君（右）、ハリル君（右から3人目）、黄さん（左）と指導した遠藤さん（右から2人目）

合格したのはベトナム国籍のアン・フートウンアン君（17）、トルコ国籍のハリル・イブラヒム・ハスギル君（17）、中国籍の黄錦英さん（17）。元高校教師の遠藤芳男さん（61）がマンツーマンで3人を指導した。

夜間中学の授業は川口市内の公民館などで週2回、午後6時半から2時間開かれる。

アン君は2年前に、技術者の父親と来日。地元元の中学校に通いながら、1年前から夜間中学で学び始めた。ハリル君は2年半前に家族と来日、1年前から通い続けた。黄さんは日本人と結婚した母親と暮らすため、昨年末に来日。昼間アルバイトしながら、夜間中学に通った。

遠藤さんは昨年4月、国語科の教師として37年間務めた高校を退職し、合格したのは東日本大震災発生前日の3月10日。遠藤さんは「地震直後、心配して誰よりも早くメールをくれたのは生徒たち。厳しい環境の中で、一生懸命に生きる生徒たちに希望をもらった」と笑顔を見せた。

試験科目は国語、英語、数学の3教科と面接。問題は他の受験生と同じく日本語で出題され、漢字が苦手な外国人には大きなハンディだ。遠藤さんは得点を上げるため、面接対策にも力を入れた。「志望理由」など予想される質問の答えを、それぞれ母国語で書いてもらい、日本語に翻訳した後、繰り返し練習した。

不安を乗り越え、3人とも見事合格した。「パーティシエになりたい（黄さん）。「日本語をもっと作りたい（アン君）。「大学に行って通訳になりたい」（ハリル君）。定時制入学は、それぞれの夢への第一歩。

合格発表は東日本大震災発生前日の3月10日。遠藤さんは「地震直後、心配して誰よりも早くメールをくれたのは生徒たち。厳しい環境の中で、一生懸命に生きる生徒たちに希望をもらった」と笑顔を見せた。

夜間中学で教え始めた。3人が定時制高校に挑戦することを知り、漢字の読み書きを中心に日本語力のアップに取り組んだ。

毎日新聞（2011, 4, 1）に掲載されました。3人はその後入学され元気に学校へ通っているということです。4年後はスタッフとして戻って来てくることを期待しています。

5・6月の教室予定

月	川口パートナーステーション（火曜日）					栄町公民館（金曜日）			
5月	3日	10日	17日	24日	31日	6日	13日	20日	27日
6月	7日	14日	21日	28日	—	3日	10日	17日	24日

 は休校

東日本大震災で休校していた金曜日の教室は、5月から行えるようになりました。

ぜんたい会のお知らせ

4月1日の予定していたぜんたい会ですが、東日本大震災により延期をしていましたが、会場もつかえるようになりましたので次の日程で行います。

生徒もスタッフも参加をしてください。

ぜんたい会は、昨年1年間の反省とともに、今年1年間の方針をつくる大切な会議です。

日時 5月31日（火）

時間 7時より

場所 川口市民パートナーステーション

夜に学ぶ生徒にも配慮して

無職 遠藤 芳男
（埼玉県東松山市 61）

高校で教員をしていた経験を生かして、埼玉県川口市で開講している自主夜間中学でボランティア教師をしている。中学に行けなかった人や不登校の中学生、外国人ら30人ほどが学んでいて、今年も3人が高校に進学していった。4月に入り新しい仲間と新学期を期待していた。

ところが、夜間中学が満足に開講できない。授業は午後6時半からなのに、震災と原発事故による節電を理由に、会場の一つである公民館が午後5時以降は使用禁止だからだ。もう一つの公民館は使えたものの計画停電時は閉館で、半分以上は開講できなかった。生徒たちの多くは職を持ち、仕事を終えてからの通学で、日本語がわからない外国人も多い。1時間かけて通って来る生徒もいて、みんな勉強したくてやってくる。確かに節電も大切なことだけれど、夜間に授業をする定時制高校や大学の夜間部、そして私たちのような夜間中学のために、一律の節電は再考していただけないだろうか。夜間の学校に通う学生、生徒たちから、どうか学習の機会を奪わないでほしい。



いつまで続くの余震

3月11日に起きた東日本大震災から1カ月たとうとしていますがいまだに毎日数回の余震が続いています。今回の地震は、三陸沖から茨城沖まで、南北500キロ、幅東西約200キロを震源域とした超巨大地震であったからです。今回の断層のずれは25メートルといわれています。

余震の予測では、今年いっぱいマグニチュード7級の地震があるかもと言われ、今後少なくとも5年は誘発地震に警戒をと言われています。